



## G

### SANtricity commands

NetApp  
March 17, 2026

# 目次

G	1
認証を始める - SANtricity CLI	1
外部キー管理の開始 - SANtricity CLI	1
ワークフローの手順	1
内部キー管理の開始 - SANtricity CLI	2
ワークフローの手順	2

# G

## 認証を始める - SANtricity CLI

認証を行うには、割り当てられたログインクレデンシャルを使用してユーザがシステムにアクセスする必要各ユーザログインには、特定のロールとアクセス権限が設定されたユーザプロファイルが関連付けられます。

管理者は次の方法でシステム認証を実装できます。

- ストレージレイに組み込みのロールベースアクセス制御（RBAC）機能を使用する方法。RBACにはユーザとロールが事前に定義されています。
- LDAP（Lightweight Directory Access Protocol）サーバとディレクトリサービス（MicrosoftのActive Directoryなど）に接続し、ストレージレイの組み込みロールにLDAPユーザをマッピングする方法。
- Security Assertion Markup Language（SAML）2.0を使用してIdentity Provider（IdP；アイデンティティプロバイダ）に接続し、ストレージレイに組み込まれたロールにユーザをマッピングする。



SAMLは、ストレージレイに組み込まれた機能（ファームウェアレベル8.42以上）であり、SANtricity System Managerユーザインターフェイスからのみ設定できます。

## 外部キー管理の開始 - SANtricity CLI

セキュリティキーは、ストレージレイのセキュリティ有効ドライブとコントローラで共有される文字列です。外部キー管理を使用する場合は、セキュリティキーを作成してキー管理サーバに保持します

外部キー管理サーバとセキュリティキーの使用の概念については、SANtricity System Managerのオンラインヘルプを参照してください。

外部セキュリティキーを実装するための基本的なワークフローを次に示します。

1. \*証明書署名要求\*を生成します
2. クライアント証明書とサーバ証明書を**KMIP**サーバから取得
3. クライアント証明書をインストールします。
4. \* KMIPサーバのIPアドレスとポート番号を設定\*
5. \* KMIPサーバとの通信をテストします\*
6. ストレージレイのセキュリティキーを作成します
7. セキュリティキーを検証

### ワークフローの手順

証明書管理と外部キー管理は、SANtricity11.40リリースに追加された新しいセキュリティ機能です。作業を開始するには、次の基本的な手順を実行します。

1. save storageArray keyManagementClientCSR'コマンドを使用して、証明書署名要求を生成します。を参照してください [キー管理証明書署名要求を生成します](#)。
2. KMIPサーバから、クライアント証明書とサーバ証明書を要求します。
3. クライアント証明書をインストールするには'download storageArray keyManagementCertificate'コマンドを使用して'certificateType'パラメータをclient'に設定しますを参照してください [ストレージレイの外部キー管理証明書をインストール](#)。
4. download storageArray keyManagementCertificateコマンドで'certificateType'パラメータをserverに設定して'サーバ証明書をインストールしますを参照してください [ストレージレイの外部キー管理証明書をインストール](#)。
5. set storageArray externalKeyManagement'コマンドを使用して、キー管理サーバのIPアドレスとポート番号を設定します。を参照してください [外部キー管理を設定](#)。
6. start storageArray externalKeyManagement testコマンドを使用して、外部キー管理サーバとの通信をテストします。を参照してください [外部キー管理通信のテスト](#)。
7. create storageArray securityKeyコマンドを使用して、セキュリティキーを作成します。を参照してください [セキュリティキーを作成する](#)。
8. 「validate storageArray securityKey」コマンドを使用して、セキュリティキーを検証します。を参照してください [内部または外部のセキュリティキーを検証します](#)。

## 内部キー管理の開始 - SANtricity CLI

セキュリティキーは、ストレージレイのセキュリティ有効ドライブとコントローラで共有される文字列です。内部キー管理を使用する場合は、セキュリティキーを作成してコントローラの永続的メモリに保持します。

内部セキュリティキーの使用の概念については、SANtricity System Managerのオンラインヘルプを参照してください。

内部セキュリティキーを使用するための基本的なワークフローを次に示します。

1. セキュリティキーを作成
2. セキュリティキーを設定
3. セキュリティキーの検証

### ワークフローの手順

内部セキュリティキーの使用を開始するコマンドは次のとおりです。

1. create storageArray securityKeyコマンドを使用して、ストレージレイのセキュリティキーを作成します。を参照してください [ストレージレイのセキュリティキーを作成しています](#)。
2. set storageArray securityKeyコマンドを使用して、ストレージレイのセキュリティキーを設定します。を参照してください [ストレージレイのセキュリティキーを設定する](#)。
3. 「validate storageArray securityKey」コマンドを使用して、セキュリティキーを検証します。を参照してください [ストレージレイのセキュリティキーを検証しています](#)。

## 著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S.このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および/または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用権を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用権については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

## 商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。